

これまでおこなってきた プロジェクトの一部を紹介します

民話 声の図書室

「みやぎ民話の会」が40年にわたって記録してきた、宮城県を中心とする民話語りの映像・音声をデジタル化し、「民話 声の図書室」として公開していく活動です。それらの資料を参加者のみなさんと聞き比べ対話する「民話 ゆうわ座」も開催しています。（みやぎ民話の会「民話 声の図書室」プロジェクトチーム）

くろい音楽室

地元の音楽愛好家と一緒にテーマに沿った音楽を紹介しながら、地元仙台にまつわる「くろい音楽」（ファンク、ソウル、ヒップホップなど）について参加者のみなさんと語り合う場です。（宮城アナログ文化協会）

どこコレ？－教えてください昭和のセンダイー

市民のみなさんから寄せられた写真や8ミリフィルムの中には、どこを撮ったのか、いつごろのものか、わからないものがたくさんあります。公開展示や対話の場を通じて、「コレ」は「どこ」なのか、参加者のみなさんに情報を募り、アーカイブしていくプロジェクトです。（NPO法人20世紀アーカイブ仙台）

プロジェクション・せんだい

仙台的映画文化発展に大きな役割を果たした「映写技師 浅井浩雄」氏のインタビュー形式での映像記録をおこなっています。浅井氏の人生を基軸に、仙台の映画文化のドキュメンタリーを作成中。（こえシネマ）

おほはしア라운드

広瀬川右岸・大橋周辺に埋もれている地域資源を発掘し、人々を惹きつける魅力としてガイドツアー、情報発信、アートなどさまざまに活用できるように記録する活動。多層に積み重ねられた歴史と地域の生活文化を尊重するまちづくりとして取り組んでいます。（地域探検隊-TTT-）

こけし、かだる？

工人（こけしをつくる人）のお話をうかがいながら、産地の真ん中で、こけしとその周辺について語り合うとともに、木地業に生きる現役工人の声を記録していきます。（こけしぼっこ）

*括弧内は、せんだいメディアテークと協働でプロジェクトをおこなっている団体です。

スタジオではこのほかにも いろんな取り組みがあります

＋考えるテーブル

人が集い語り合いながら震災復興や地域社会、表現活動について考えていく対話のための場です。さまざまなスタジオ協働団体やメディアテークがホストをつとめ、黒板に仕立てたテーブルをメディアとして、ライブで語り合います。
<http://table.smt.jp/>

＋3がつ11にちをわすれないためにセンター

市民、専門家、スタッフが協働し、復旧・復興のプロセスを独自に発信、記録するプラットフォームです。映像、写真、音声、テキストなどさまざまなメディアの活用を通じ、情報共有・復興推進に努めるとともに、収録されたデータを「震災の記録・市民協働アーカイブ」として記録保存しています。
<http://recorder311.smt.jp>

＋バリアフリーデザイン

社会の中のさまざまな「バリア」に目を向け、課題を共有していくための取り組みをおこないます。目や耳の不自由な方に限らず、あらゆる人が、メディアテークを通じて多様な活動に参加できる環境を提供します。
<http://www.smt.jp/barrierfree/>

＋ことりTV

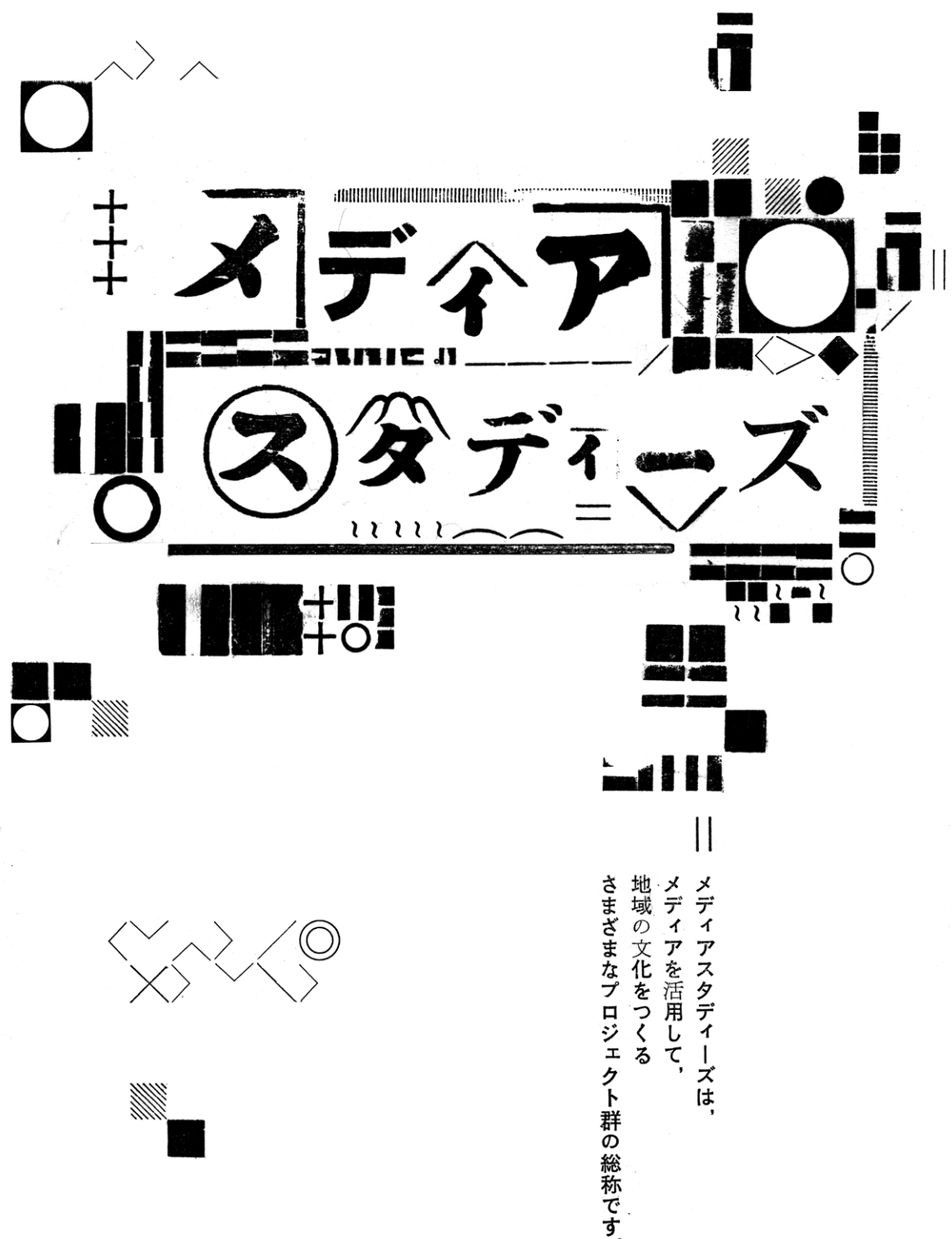
市民ディレクターが、仙台の人や出来事を紹介するテレビ番組「ことりTV」。メディアテークのスタジオ機材を使い、取材や撮影、映像編集のノウハウを学びながら制作に取り組みます。制作されたテレビ番組は、ウェブサイトでも公開しています。（協働：仙台CATV）
CAT-V NETTV
<http://cat-vnet.tv/movie/kotori/menu.html>
<http://www.smt.jp/projects/kotori/>



お問い合わせ先
せんだいメディアテーク企画・活動支援室
office@smt.city.sendai.jp
〒980-0821 仙台市青葉区春日町2-1
tel 022-713-4483 fax 022-713-4482
www.smt.jp



このチラシはリサイクルできます



メディアアスタデイズは、
メディアを活用して、
地域の文化をつくる
さまざまなプロジェクト群の総称です。

✖ ディアスタディーズとは

メディアスタディーズは、メディアを活用して、地域の文化をつくるさまざまなプロジェクト群の総称です。メディアスタディーズは、大きくふたつの方向性を持っています。

ひとつは、デジタルアーカイブ活動です。民話や芸能などの伝承文化を映像や音声で記録したり、昔の街並みの写真を画像データに変換して保存するなど、私たちの身の回りにある、たくさんの記録しておくべき事柄を取材し、適切な方法でアーカイブしていきます。その成果は、映像音響ライブラリーやウェブサイトのほか、展示などで公開します。

もうひとつは、メディアを使った創作と実践の活動で

す。企画会議や出版のための編集作業、あるいは公開プレゼンテーションなど、さまざまな現在形の表現活動のプラットフォームとなっています。

そして、これらの活動のために、スタジオに備わる映像機器やコンピューターだけでなく、活版印刷機のようなアナログな装置や、人が集う場そのものも有効なメディアとして捉え、活用していきます。

使いながら考え、考えながら使うという、メディアスタディーズの活動は地域の生活の中から豊かな文化を育む素地となります。さらには、その活動者同士がメディアアークで出会うことで、新たなプロジェクトが発生していく環境づくりを実現していきたいと考えています。

▶ スタジオとは

個人・グループによる映像や音声などのデジタルメディアを用いた表現活動やその発信のための環境を備えています。7階外周部のオープンな空間を3区域に分けたスタジオa、b、cや、7階外周部の南側には展示などができるラウンジがあります。

スタジオa



黒板仕立ての机や椅子があり、小規模なトークイベントや、打ち合わせや会議などがおこなえます。30名程度まで集まることができます。

スタジオb



ホワイトボード仕立ての机があり、中規模なトークイベントや、打ち合わせのほか、編集・制作作業などがおこなえます。40名程度まで集まることができます。

スタジオc



点訳ソフトが入ったパソコンや、点字プリンターなどがあり、バリアフリーデザインの活動で使える機材があります。また、5〜6名程度の打ち合わせができます。

ラウンジ



プロジェクトの公開調査、成果の展示をすることができます。

▼ スタジオで使える機材

- ▶ 映像撮影用 (ビデオカメラ、三脚など)
- ▶ 写真撮影用 (デジタルカメラ、三脚など)
- ▶ 録音用 (ICレコーダー、マイクなど)
- ▶ 展示・プレゼン用 (自立式スクリーン、モニター、プロジェクターなど)
- ▶ 編集・制作用 (パソコン、スキャナー、映像/画像編集ソフトなど)

*一部機材は館外貸出可能です。(貸出期間1週間)



◎ 活動の成果について

発信の媒体として、2階映像音響ライブラリー (DVD資料としての公開)、ウェブサイト、ことりTV (ケーブルテレビ番組枠) などがあります。



→ 活動の流れ ▶▶▶ たとえばこんなプロジェクト？ ※プロジェクトは架空のものです。

自転車映画祭操業



Aさん
24歳 会社員
自転車と映画が好き

映画が好きなので、映画祭とかしてみたいと思っていたけれど、一緒にやる仲間がいなかった。〇〇映画祭の主催者を招いて映画祭づくりのノウハウを聞いたり、ほかの映画祭を知るための勉強会を開けば、きっと映画祭づくりに興味のある人が集まるんじゃないかと、自分で企画することにした。そして、意気投合する人に会えたので、より良い映画祭を考える勉強会を重ねつつ、2年後の「自転車映画祭」開催を目指して活動している。

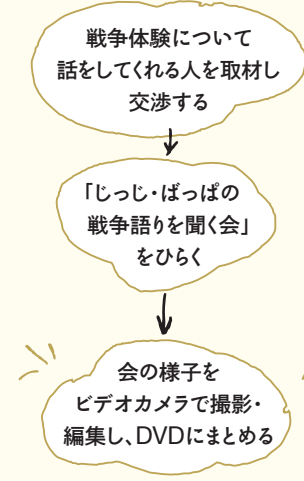


じっじ・ばっばの戦争語りを聞く



Bさん
32歳 学校教諭
一児の父

最近、戦争を経験した人たちが少なくなっているのを知った。私も祖母から少しだけ聞いたことがあるが、もっといろんな話を聞いておきたいと思う。友達に話してみたら、共感してくれたし、きっとほかにも聞きたい人はいるはず。だったら、話をしてくれそうなお年寄りを招いて、みんなで当時のお話を聞く小さなイベントなんて、開催できないかな。せっかくだから録音したり、映像で残せると良いのになあ。



sendai ZINE dicate



Cさん
18歳 学生
デザイン科

「ZINE*」が好き。自分でもつくっているけれど、仙台ではあんまり盛り上がっていないような気がする。だったら、つくっている人とかZINEを扱ってくれているショップさんとかみんな集まって、技術的なこととかいろいろ情報交換したり、小さな展示とかできたりしないかな。あ、そういうことする団体をみんなで作るとか？名前は「sendai ZINE dicate」に決めた。

*ZINE (ジン) =有志の人々が制作する、少部数で非商業的な冊子。コピー機で印刷し、ホチキスで簡易に綴じることが多く、ミニコミ・同人誌・リトルマガジン・リトルプレスなど名称や形態もさまざまある。



2015/3/10(火) 締切

メディアスタディーズ プロジェクト企画案募集

平成27年度

メディアスタディーズ

プロジェクト企画案 応募要項

募集内容

せんだいメディアテーク7階スタジオを拠点として活動する、新たなプロジェクトの企画案を募集します。企画の内容は、メディアスタディーズの趣旨に合致したものとします。採択された方は、実施内容についての協議を経て、2015年度における目標を設定し取り組んでいただきます。

メディアスタディーズとは？

メディアスタディーズは、メディアを活用して、地域の文化をつくるさまざまなプロジェクト群の総称です。地域の歴史や文化をデジタルアーカイブとして残していく活動や、企画会議や編集作業などのメディアを使った創作と実践の活動などに取り組みます。

応募の条件

- ①前述の趣旨に合致し、7階スタジオの環境を活用するプロジェクトであること。
- ②プロジェクトの2015年度の達成目標を持っていること。
- ③原則としてプロジェクトへの参加が一般にもひらかれていること。
- ④プロジェクトの成果や活動記録をメディアテークと共有し、一般に公開できること。
- ⑤2016年2月頃に予定する実施成果を発表する企画に参加すること。
- ⑥プロジェクトの終了後、報告書を作成すること。
- ⑦メディアテーク職員と連絡・相談ができる実務担当者が決められること。

*1年毎に活動を振り返り、見直して、活動を継続していくかを検討します。

*宗教活動または政治活動を主な目的としたプロジェクト、興業など、営利を主な目的としたプロジェクトは対象となりません。

応募方法

所定の応募用紙と提案内容に関する企画書（書式自由）を添付し、郵送、ファックス、電子メールのいずれかの方法でご提出ください。2015年3月10日(火)必着です。

*電子メールでご提出いただく際には、件名に「メディアスタディーズ プロジェクト企画案 応募」と記載してください。

*応募用紙はメディアテークウェブサイトからもダウンロードできます。

公開相談会

以下の日程で公開相談会をおこないます、参加は任意です。

2/25(水) 18:00-20:00 公開相談会①

2/28(土) 15:00-17:00 公開相談会②

会場 せんだいメディアテーク7階プロジェクトルーム

選考方法

応募資料をもとにメディアテークが選考し、採択します。選考結果はご応募いただいたみなさまへ3月中にお知らせします。

応募から実施までの流れ

2015年

2/25(水) 公開相談会①(参加は任意です)

2/28(土) 公開相談会②(参加は任意です)

3/10(火) 応募締切

3月中 選考・結果通知
実施に向けた協議
計画書の作成、同意書にサイン

4月 活動開始

2016年

2月(予定) 成果の発表

3月 報告書の提出

プロジェクトのための環境

せんだいメディアテーク7階のスタジオが活動の主な場所になります。外周部のオープンな空間を3区域に分けたスタジオa、スタジオb、スタジオcは、一般に開かれた対話の場をつくる活動や制作作業ができます。また、それらの活動のために使用する撮影・編集環境、上映機材、展示機材、音響機材、プリント出力機材があります。南側ラウンジでは、プロジェクトの公開調査、成果の展示をおこなうことができます。さらに、発信の媒体として、2階映像音響ライブラリー(DVD資料としての公開)、ウェブサイト、ことりTV(ケーブルテレビ番組枠)などがあります。

応募・お問い合わせ先

せんだいメディアテーク

企画・活動支援室

「メディアスタディーズ

プロジェクト企画案募集」係

〒980-0821

仙台市青葉区春日町2-1

tel 022-713-4483

fax 022-713-4482

www.smt.jp

office@smt.city.sendai.jp





メディアスタディーズ プロジェクト企画案 応募用紙

※この応募用紙に **企画書(書式自由)** を添付のうえ、郵送、ファックス、電子メールのいずれかの方法でご提出ください。

*太枠内をご記入ください。

プロジェクト企画名	
ふりがな	
氏名または団体名	担当者名(団体の場合)
住所 〒	電話
メール アドレス	FAX
プロジェクト概要	
応募の動機	1年間の目標や成果物
将来の展望	メディアテークに期待すること

応募・お問い合わせ先

せんだいメディアテーク 企画・活動支援室
「メディアスタディーズ プロジェクト企画案募集」係
〒980-0821 仙台市青葉区春日町2-1
tel 022-713-4483 www.smt.jp
fax 022-713-4482
office@smt.city.sendai.jp

応募締切 2015年 3月10日(火) 必着

係員記入欄

申込
番号

年 月 日